

令和 3 年度 函館市地域包括支援センター 活動計画について

函館市保健福祉部
地域包括ケア推進課

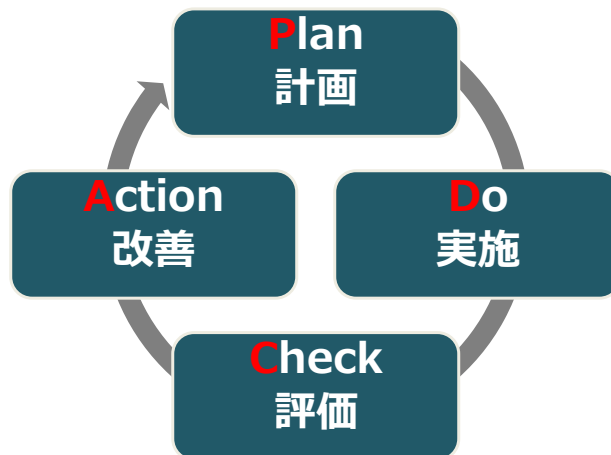
令和 3 年度 函館市地域包括支援センターの業務

包括的支援事業

- ア 地域包括支援センターの運営
 - (ア) 総合相談支援業務
 - (イ) 権利擁護業務
 - (ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - (エ) 地域ケア会議推進事業
- イ 生活支援体制整備事業
 - (ア) 第 2 層生活支援コーディネーター業務
- ウ 認知症総合支援事業
 - (ア) 認知症初期集中支援推進事業
 - (イ) 認知症地域支援・ケア向上推進事業

活動評価および活動計画作成の目的

PDCAサイクルを繰り返すことにより、事業の改善を繰り返し、事業の質の向上を図る。






活動評価および活動計画の様式

令和2年度の事業目標を評価し、その評価に基づき、令和3年度の活動計画(事業目標、計画、評価指標)を作成している。

事業内容	令和2年度活動評価		令和3年度活動計画		
	実績	活動目標に対する評価	活動目標	計画	評価指標
		〔活動目標〕 〔評価〕			

活動評価および活動計画は、以下「活動計画」と称す

活動計画のPDCAサイクルができていない例

事業内容	令和2年度活動評価		令和3年度活動計画		
	実績	活動目標に対する評価	活動目標	計画	評価指標
	<p>評価に関係ない (必要がない) 実績を掲載している。</p> 	<p>〔活動目標〕</p> <p>〔評 価〕</p> <p>実績に対する評価、説明だけになっていて、令和2年度の活動目標を評価し切れていない。</p> 	<p>令和2年度の評価から令和3年度の活動目標へのつながりが見られない。安易に令和2年度と同じ目標にしている。</p> 		

活動計画のPDCAサイクルができていない例 包括よろこびの活動計画（抜粋）

事業内容	令和2年度活動評価		令和3年度活動計画														
	実績	活動目標に対する評価	活動目標	計画	評価指標												
総合相談業務	<p>①利用者基本情報～</p> <table border="1" data-bbox="454 1489 558 1624"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>②総合相談対応件数</p>													<p>〔活動目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で生活している高齢者やその家族の実態把握に努め、支援が必要な際に迅速に対応することができる。 <p>〔評 価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問時には対象者本人だけでなく、配偶者等の家族の実態把握を意識的に行った。 見守りネットワーク事業での実態把握では新型コロナウイルスを理由に訪問を希望されず、実態把握ができなかった方が多数いたことから、利用者基本情報作成数が目標数値を大きく下回った。 実態把握歴がない高齢者の相談にも、必要な支援を明確にして迅速に対応できた。 以上から、実態把握は目標数値に到達できなかったが、支援が必要な高齢者とセンターがつながると迅速に対応ができていたため目標は一部達成できた。 支援拒否など関わりが難しく、問題が大きくなってからの相談もある。これらを早期発見・早期対応できるために、今後も意識的に実態把握に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に住む高齢者の生活状況を把握することで、支援が必要な際に早期対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①訪問時の～ ②見守り～ ③広報紙や～ ④早期対応～ 	

活動計画作成の流れ

1 センターが活動計画の第1稿を作成し、市へ提出

2 地域包括ケア推進課担当内で第1稿を確認し、
センターへのヒアリング事項等を整理

3 各センターへヒアリングを実施

ヒアリングの視点

- ・令和2年度の活動目標の評価になっているか。
- ・令和3年度の活動目標につながる評価になっているか。
- ・市の運営方針や地域課題に基づく活動計画になっているか。

4 必要時センターが加筆および修正し、完成版を市へ提出

令和3年度 函館市地域包括支援センター運営方針

地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに、
誰かが異変に気付いたら相談できる地域づくりを行う。

高齢者と関わりがある関係機関への地域包括支援センターの周知の強化

地域の支援者や地域密着型サービス事業所との
早期対応のための連携強化

地域住民に対する認知症の正しい理解と
地域の見守りについての普及啓発

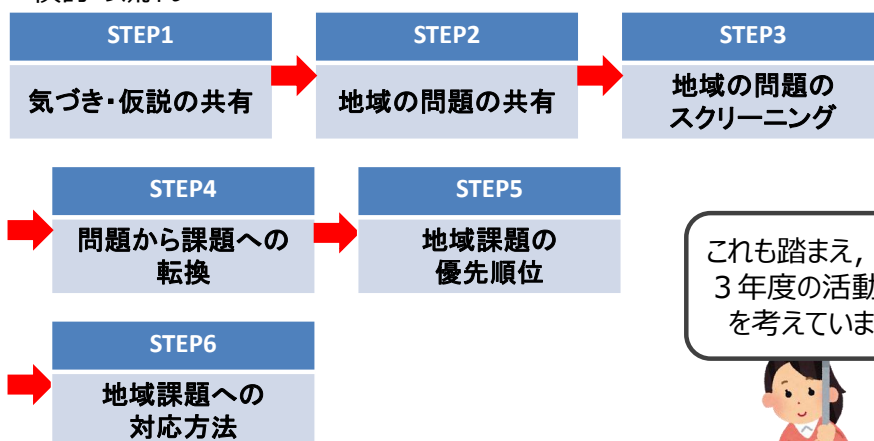
住民主体の助け合い活動に参加する高齢者を増やすための意識醸成

これらの重点取組事項を
踏まえ、令和3年度の
活動計画を考えています。



日常生活圏域レベルの地域課題の検討

- ・ 圏域の地域課題を明らかにするため、各センターで実施する。
- ・ 検討の流れ



これも踏まえ、令和3年度の活動計画を考えています。



東央部第2圏域：たかおか

地域の問題	健康や介護予防への意識の高まりはあるが、活動の機会・集まりの場がコロナ禍で休止しており、高齢者が介護予防に取り組めていない
問題が生じている要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク回避を最優先に考える必要から、開催の継続や新規の活動を検討する機会が持てずにいる地域が多い ・ 牽引役となるリーダーの責任が重く、協力者の遠慮もあり、活動継続の支障となる場合がある ・ 利用できる社会資源が少ない など
地域課題	既存の活動が休止していても、地域で一緒に介護予防に取り組んでいるという認識が持てるよう働きかけることで、介護予防の取り組みを継続できる
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の活動の実態把握をし、センターの介入の必要性の有無を検討する ・ 健康づくり教室や自主活動グループのリーダーと今後の活動について検討を行う ・ 「活動ガイド」を活用し、身近な活動の紹介を行う ・ 自宅でもできる取り組みを広報する など

北東部第2圏域：亀田

地域の問題	地域づくりに興味のある関心層が住民主体の活動の場につながっていない
問題が生じている要因	<ul style="list-style-type: none">・集いの場や活動の場の情報がない・場はあるが活動が少ない・既存の場に参加するにはハードルが高く、きっかけがない・マッチングが機能していない
地域課題	地域づくりに興味関心のある人に集いの場の情報提供・マッチングをすることで、実際の活用につながる事ができる
取組み	<ul style="list-style-type: none">・地域課題の検討を行う地域ケア会議による、地域課題の発見や地域づくり・第2層協議体による助け合いの仕組みや高齢者の社会参加の場づくり・広報紙によるまちの助け合い活動や集いの場等の周知・まちの助け合い活動とくらしのサポーターや関係機関等のマッチング など

今後の課題

- 運営方針や整理した地域課題に基づき、活動計画の中に入れて各種事業を行っていく。
- しっかり評価を行い、その評価結果を基に、現在ある地域包括ケアシステムを深化・推進させていく。

委員の皆様に意見を伺いたいこと

- 各センターの活動計画についての感想または意見